

## 参院憲法審査会、規程制定めぐる動き急

国会の会期末を控え、参議院憲法審査会の規定制定を強行し、次期通常国会からの始動をめざす動きが強まっています。民主党と自民党の国対委員長が10月に早期制定を合意後、議運筆頭理事が協議してきましたが、「委員数を45とするなどで合意、党内手続きを待つだけ」とも伝えられています。また16日には、新憲法制定議員同盟が審査会の始動をめざし、会合を開きました。国民の多数が改憲を求めているにもかかわらず、比例定数の削減によって改憲反対勢力を国会から締め出すと同時に、改憲原案審議の場を用意しようとする動きは絶対に軽視できないものです。



(写真提供・片桐公男氏)

### 「規程」制定・比例定数削減を許すな! 五・三憲法集會実行委員会が院内集會

十一月十六日、五・三憲法集會実行委員会は国会内で集會を開催、六五人が参加しました。冒頭、市民連絡会の高田さんが挨拶、社民党の福島党首、共産党の赤嶺議員、穀田国対委員長らが国会報告をしました。続いて各団体を代表して、女性の憲法年連絡会の榎本さんが

「比例定数削減は新安保懇報告の具体化めざすもの」と批判し、憲法会議の長谷川事務局長が「比例定数削減、規程制定の背景には財界の改憲戦略がある」と指摘。国民救済会の望月副会長は「言論集会表現の自由抑圧は改憲策動と一体」と強調しました。

### 【資料】政府ならびに改憲派の動向

- 「新世紀の安全保障体制を確立する若手議員の会」が名称変更、「若手」を削除（7日読売）
- 自民有志「定数削減と選挙制度改革を考える会」が初会合。安倍氏「中選挙区に戻せ」（16日）
- 防衛大綱民主案骨子が明らかに一恒久法制定、武器輸出3原則見直し等（17日産経）
- アフガンに自衛隊医療部隊派兵検討表明（17日・菅首相・参議院予算委員会）